

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～先の読めない「予測不能の時代」ということは・・・

「〇〇」を避けることはできない！・・・だから・・・～

離任された磯村校長先生が…3学期の終業式で…着任された愛川校長先生が始業式で…
ともに、これからの社会は「人類がこれまで経験したことのないスピードで変化する情報社会」であり、
「予測不能の時代」になる。それに対応する力とは・・・というお話がありました。

私からは、「成功」の反対は「失敗」ではない・・・「何もしないこと」・「動き出さないこと」と
いう話をさせてもらいました。その「失敗」についてですが・・・

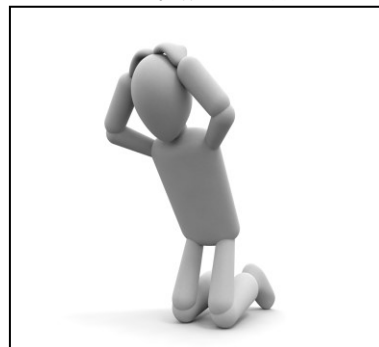
失敗を恐れる気持ちはだれにでもある。誰だって失敗したくない。でも、失敗をあまり恐れると伸び伸びした行動がとれなくなってしまう。失敗を恐れて何事にも躊躇する傾向が強まっているように感じる。

マニュアルに従って動けば間違いなし、勝手に動いて失敗や叱られるのは嫌なので、マニュアルや指導者のサポートに頼るようになったのではないかと。

言われた通りやっていたらうまくいくのなら、あえて自分からチャレンジする必要もない。

これはマニュアル依存や指示待ち傾向にも通じることだが、面倒見の良いサポート環境の弊害といえないだろうか。

面倒見の良さが失敗を過度に恐れる心理を生み、自発的な動きを妨げているのではないだろうか。



AIなどの発展により、これからますます先の読めない時代になっていく。

予測不能なのだから、失敗を避けることはできない。

失敗しながら歩いていくしかない。

失敗を恐れていたなら前進できないし、失敗にいちいちめげていたなら身動きが取れなくなる。そんな時代に求められるのは、失敗への対処能力を高めること、

そして失敗から学ぶことである。

偉人伝などを見ても、だれもが大きな挫折に直面し、それでもめげずに粘り強さを発揮し、知恵を絞って、何とか乗り越えることで成功していることがわかる。

いわば失敗を糧にして這い上がっている。

『伸びる子どもは〇〇がすごい』榎本 博明 著 日本経済新聞出版

人生は失敗の連続といってよい。失敗のない人生なんてあり得ない。失敗を避けることはできないということは・・・**失敗することを過度に恐れず、失敗の意味や価値をしっかりと認識**することではないでしょうか。失敗をすることを通して、現実を生き抜く上で大事なことを学んでいくのです。

現代社会においては、子どもだけでなく、大人までにも失敗を極力させないように過保護な環境を作ってしまうようには思いません。

県高生活では、失敗を笑ったりする人はいないはず。安心してチャレンジしてくださいね。